



地域福祉向上へ大きな前進 平成17年4月1日新潟市福祉公社と統合

平成5年7月に新潟市の全額出資で設立された(財)新潟市福祉公社は、(福)新潟市社会福祉協議会と同じく総合福祉会館に事務所を置き、まごころヘルプをはじめとした自主事業や、放課後児童健全育成事業(ひまわりクラブ)等の市からの受託事業、また、高齢者や障害者の方に対するヘルパー派遣など介護保険制度開始前から新潟市における在宅福祉サービスを先進的に行ってきました。

しかし、近年の社会状況の変化や民間介護保険事業者の進出、市政改革等の要因により、同法人の役割についても改めて検討がなされ、市町村合併を契機に当会と統合することになりました。

これにより、民間福祉の窓口が1つとなり、より市民にわかりやすくなるとともに地域福祉事業と在宅福祉サービス事業の一体的な推進により、地域福祉の向上に大きな前進となります。

福祉公社の主な事業

自主事業(まごころヘルプ室で実施)

- ・在宅福祉サービス提供事業
- ・給食サービス事業
- ・研修、人材育成事業
- ・地域の茶の間事業



市からの受託事業等

- ・ひまわりクラブ管理運営事業
- ・障害者福祉センター運営事業
- ・老人福祉センター管理運営事業

介護保険事業

- ・訪問介護サービス事業(ヘルパー派遣)
- ・通所介護サービス事業(老人デイサービス)

支援費事業

- ・障害者居宅介護サービス事業(ヘルパー派遣)
- ・身体障害者デイサービス事業



歳末の三世交代事業

社会福祉協議会



夏休みボランティア体験学習のつどい



地域の茶の間事業(まごころヘルプ)

福祉公社



ひまわりクラブの運営



統合による メリットは?

両者がもつ福祉サービスが融合し、新しい社会福祉協議会の地域福祉事業やその機能の強化が図られます。

12市町村社協との合併及び以後の事業が円滑に推進されます。

管理部門の統合により財政的効果が期待できるとともに、窓口の一本化により、市民によりわかりやすくなります。

12市町村 社会福祉協議会

統合後の事業について

12市町村社協と同様、福祉公社の事業・職員をこれまでどおり引き継ぎます。統合後は福祉公社の在宅福祉サービスのノウハウを活かして、新しい社協の事業部門として活動を展開し、より一層の地域福祉推進を図っていきます。

組織が大きくなっても、きめ細かい福祉サービスが提供できるよう役職員ともども効率的・効果的な事業運営に努めてまいります。
新社協の事業・予算等につきましては、今後お示しいたしますが、まずはスムーズな新体制移行に向けて、万全の準備を進めてまいりますと考えております。
今年一年の皆様のご健康とご多幸を祈念し、あわせて本年もよろしくお祈りいたします。

さて、今年はいよいよ4月1日に12市町村社協との合併、福祉公社と統合を迎えます。現在、市社協の職員数は40名ですが、合併・統合後は約1,500名になり、事業・予算規模も大幅に増大します。
組織が大きくなっても、きめ細かい福祉サービスが提供できるよう役職員ともども効率的・効果的な事業運営に努めてまいります。



新潟市社会福祉協議会
会長 長谷川 義明

期待膨らむ平成17年

平成17年 新春



早い復興を願って、届け熱いメッセージ 被災者支援の輪が広がる新潟県中越大震災

新しい年が明け、本格的な冬の到来を迎えた被災地では、今なお被災住民への支援が続いています。

発災直後から、被災を受けた12市町村には、地元の社協をはじめ、様々な関係機関やボランティア等で構成する「協働型」の災害ボランティアセンターが設置されました。

各地の災害ボランティアセンターでは、様々な所属からなるスタッフがボランティアコーディネーターの役割を担い、地域住民の緊急ニーズの把握と、現地に駆けつけた延べ約70,000人のボランティアへ活動を指示する業務等に当たりました。

また当社会福祉協議会のボランティアセンターでは、7.13水害時に続き、“何か自分にできることで協力をしたい”との市民の皆さんの熱い気持ちを受け、ボランティア参加を呼びかけたり、右記のような活動を行いました。

今後とも被災地の一日も早い復興を願いつつ、災害に備えた体制整備を進めて行きたいと思えます。



温かい心を込めて握っています。炊き出しボランティアの皆さん

これまでに行なった主な活動

被災地への炊き出し支援

10日間で延べ418名の方から協力をいただき、20,000個余のおにぎりを被災地へお届けしました。



炊き出しにかかる物資等の寄附

お米約4,800kg・海苔約90,000枚・梅干約300kg等を計190の企業・団体・個人の方からいただきました。市内はもとより、市外・県外からも寄せられました。

災害救援ボランティアを派遣

市民に呼びかけ、災害救援ボランティアを組織し、3日間で延べ107名の方が川口町で救援活動を行いました。(新潟市と民間企業のバスで送迎)



その他

- ・災害救援ボランティア受入窓口を設置
- ・義援金の街頭募金を実施
- ・県災害救援対策本部の要請により、救援物資仕分けボランティアを派遣
- ・新潟市避難所で避難者への食事提供支援
- ・お米、海苔、梅干等を小分けにし被災者に贈呈

がんばれ中越



希望の光！ボランティア（小千谷市の仮設住宅）

新潟県中越大震災義援金にと、市民の皆様から総額3,206,228円もの寄附金が寄せられました。(12月20日現在)

この義援金は、新潟県共同募金会を通じて被災地へ送らせていただきました。

あなたの思いを聞かせてください ボランティアのつどい 2004 開催

ボランティアセンターから

昨年11月28日(日)に予定をしていた「ボランティアのつどい2004」は、地震被災地への支援活動のため延期をしておりましたが、この度開催の準備が整いましたので、改めてご案内します。今回は、新たに「災害」をテーマとした分科会を設け、救援活動に携わった立場の方々からのお話をいただく予定です。

現在ボランティア活動をしている方、またはボランティアに興味や関心のある方など、どなたでも参加できます。参加を希望される方は、電話、FAXまたはEメールで希望分科会を伝えてお申し込みください。

日時 / 平成17年3月19日(土)
午後1時～午後4時30分(受付12時～)

会場 / 新潟市総合福祉会館

問い合わせ・申込先
新潟市社会福祉協議会 ボランティアセンター
締め切り / 3月9日(水)まで

参加費は無料です。
保育を希望される方は、前もってご連絡ください。
なお、1歳以上が対象となります。
手話通訳・要約筆記が必要な方は事前にお申し出ください。



《オープニング》 午後1時～	オープニングセレモニー
《基調講演》 午後1時20分～午後2時30分 定員120名	「たかがボランティア、されどボランティア ～ボランティアって何だろう～」 講師 太田 昌也 さん 社会福祉法人 大阪ボランティア協会常務理事
《分科会》 午後2時40分～午後4時30分 第1分科会 定員80名 第2分科会 定員40名	第1分科会『災害ボランティア』 シンポジウム 『災害ボランティアが地域にもたらしたもの』 コーディネーター 渡邊 豊さん 社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会 第2分科会『入門』 ワークショップ 『この人ってボランティア?(災害編)』 コーディネーター 太田 昌也さん 社会福祉法人 大阪ボランティア協会常務理事
《その他》	ボランティアグループ等紹介コーナー

修学資金貸付のお知らせ



下記のような世帯を対象とした高校入学時等の貸付相談を行っています。

貸付対象

新潟市内に3ヶ月以上居住している低所得世帯で、他の金融機関(銀行・国民生活金融公庫等)から借入が困難で、日本学生支援機構等の奨学金制度に該当しない世帯が対象です。

相談に必要な書類

- (1) 合格(入学)証明書
- (2) 世帯員の中で所得がある人はそれを証明するもの(源泉徴収票・給与明細書・年金の通知書等)
- その他
 - (1) 連帯保証人が1名必要となります。
 - (2) 申請は地域の民生委員を通じて行います。
 - (3) 卒業後6ヶ月措置後、10年返済になります。(無利息)

低所得世帯の所得基準 (参考)

世帯人数	所得金額(月額)
3人	288,000円以下
4人	362,000円以下
5人	439,000円以下

修学資金貸付金額

支度費	入学に際し、必要な経費(上限あり)
修学費	卒業するまでの月数(最大36ヶ月)申請可能

支度費(入学時のみ借入可能) 500,000円まで
 修学費(在学する期間) 月額 35,000円まで

~計算例~

修学費は6ヶ月に1度の分割交付です。
 高校に合格し申請する場合
 〔支度費 350,000円〕
 修学費 月 30,000円×36ヶ月
 高校2年から申請する場合
 修学費 月33,000円×24ヶ月

大学、短大、専門学校へ入学の場合、日本学生支援機構のきぼう21プラン(有利子)を優先します。

問い合わせは、現在、在籍している高校・進学する予定の学校・日本学生支援機構(0570-03-7240)まで。

……→あたたかい善意のご寄附をありがとうございました←……

寄附金

9月~11月末分までを掲載

一般寄附

《9月》	
匿名 3件	9,000円
《10月》	
(社)新潟緑化保全協会	
新潟県園芸商協会	46,730円
新柳会	27,039円
緑樹苑	7,219円
サッポロ飲料	1,661円
三国コカ・コーラ	4,293円
キリンビバレッジ	1,265円
市内の新交ストアご利用のお客様	33,266円
新潟万代ライオンズクラブ	10,000円
スナックみにくいあひるの子	19,448円
(株)日本プログレスカレッジ	12,819円
(株)高助	50,000円
まごころヘルプ	10,000円
松浜ふれあい会	5,000円

新潟市連合婦人会	30,000円
濁川ゆうあい会	3,000円
新潟樹ごころの会	9,000円
匿名 2件	8,000円
《11月》	
北陸ガス(株)	511,744円
曾野木七味の会	5,000円
西地区公民館 サークル虹	3,340円
〃 楽焼教室	3,000円
北地区公民館 社交ダンスグループ同	12,200円
大竹 猛	50,000円
新潟日報NIC石山東	93,312円
曾野木地区文化祭実行委員会	10,000円
前澤工業(株)	300,000円
高橋 英世	3,000円
保高 正良	1,311円
黒崎山野草の会	6,050円
カラオケなでしこ会	20,000円
ボーイスカウト第16団	5,000円
中央高校ダンス部	150,000円
新潟らん友会	10,000円
明るい社会づくり運動 ソーシャルサーブ	20,000円

匿名 3件	7,000円
-------	--------

香典返し

《10月》	
岡田 正幸	100,000円
《11月》	
平川 純子	100,000円

寄附物品

9月~11月末分までを掲載

《9月》	
新潟県信用組合新潟市内店舗職員有志	車椅子 4台
(株)マイカル 新潟サティ従業員一同	手作り雑巾 150枚
《10月》	
茨城県茨城町、JA水戸	トマト 30箱
	甘藷 50箱
《11月》	
山形県中山町、JA山形北部営農センター果樹部会	ラ・フランス 10箱
	りんご 10箱

地区社協

3

活動紹介シリーズ

今回は、中、西、東の3地区です。次回は中央、南地区にバトタッチします。



中地区社会福祉協議会
 中地区の活動の中から、今回は地域福祉推進懇談会についてご紹介いたします。この懇談会は、平成9年度から、少子・高齢化が進む中で高齢者をテーマにした講演会を開催するなどして進めてまいりました。昨年度は従来の高齢者の福祉や介護保険制度関連のテーマから視点を転じて、中地区社協幹事、民生委員をはじめ管内の保健・福祉関係者等に幅広く呼びかけられたところ130名参加されました。新潟県高齢者大学講師による「ともに生きる福祉のまちづくり」についての講演でお互いに地域で支え助けあえる福祉活動を考えさせられました。また、保健所職員による「肥満と健康!」についての講演を聴くことにより、生涯を通じて健康づくりのために、生活習慣をどう改善したらよいか指導を仰ぎ、地域福祉活動の充実と向上について考えることができました。今年度は児童の保護者が安心して子育てができるよう地域で支えあう児童福祉活動が求められており、新潟臨港病院の西山藤司医師

西地域保健福祉センターの協力で、「地域リハビリ教室」を体力の低下した高齢者を対象に、心身機能の回復を目的とし、週1回開催しています。
 地域ふれあい会の開催
 数ヶ所の自治会が集まり、身近なテーマの研修会を行ったり、地域の人たちと声を掛け、助け合っている。元気にしていますか?と声を掛け、助け合っている。ただ、ふれあい交流を重けています。

西地区では、社会福祉による温かい地域づくりと安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域間の交流を含め、主な事業として、「高齢者支援」や「子育て支援」を行っています。「高齢者支援事業」

西地区では、社会福祉による温かい地域づくりと安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域間の交流を含め、主な事業として、「高齢者支援」や「子育て支援」を行っています。「高齢者支援事業」

17年度も引き続きこの懇談会を実施していきたいと考えております。



毎年、旬なテーマで開催!

東地区社協では、地域の皆さんが自主的に行う「地域ふれあい事業」が活発に

中野小屋親子三代ふれあいの開催
 三世同居の多い、中野小屋地区の在宅福祉活動の一環として市社協の協力を得て、自治会・民生委員・老人クラブ・婦人会など多くの団体が中心となって、保育園児・小中学校の子ども達とともに、「ふれあい給食」のあと、アトラクションなどを披露して一日を過ごしています。



社協杯の「熱戦」

「子育て支援事業」
 「11月」の会の助成
 西内野の民生委員の方々が中心となって、未就学の児童が元気いっぱい自然に育つことを目的に、「ゆつくり、くつろげる」「ふれあい」をテーマとした遊び場として週1回開催しています。

社協杯球技大会の開催
 管内小学校6校間で、「野球」と「ミニバスケット」の対抗試合を開催しています。保護者と生徒がともに、「社協杯」獲得を目指し、練習の成果を発揮した熱戦が毎年開催されています。



手話に合わせて歌う園生たち

こうして、2時間後には、昼食会の始まりです。園生もお年寄りもいつもの大勢で食べる昼食に大満足で、食事中の話も弾みまです。満腹になった後は、ギターに合わせて、「手のひらを太陽に」などの歌を園生の手話つきで楽しみます。このように、障害を持つ園生と寺山地区の皆さんが交流した半日が終わりました。東地区社協では、地域の皆さんが絆を深め、支え合いながらの「温かい地域づくり」をこれからも進めてまいります。

行われています。今回は、寺山支会が「ほがらか福祉園」で行った「地域ふれあい会」の様子を紹介いたします。朝8時、自治会の皆さんや、民生委員、老人クラブの方々が集まり、空き地に穴を掘り、前日までに集めておいた薪で仕掛けを作り、焼き芋作り・ドン菓子作り、豚汁作りの準備が始まります。30分後には、園生も集まり、芋を銀紙に包んだり、餅をつくなどして昼食会の手伝いに参加します。たき火の周りには園生が輪を作り、焼きあがるのを楽しみに待ちます。



地域住民の結びつきを熱く語る梅澤さん

地域福祉を共に支えて

14人と9団体を表彰

平成16年度

社会福祉功労者表彰式



11月29日(月)新潟市総合福祉会館で、民間社会福祉の推進功労者の表彰式が行われました。

今年は長年にわたり、社会福祉団体や施設などの役員として功労のあった方々や、ボランティア活動を続け、他の模範となったグループなど14人9団体が表彰されました。民生・児童委員の森本光英さん、手話サークル「ほほえみ会」が長谷川会長から表彰状を授与された後、民生・児童委員の大江昌子さんが受賞者を代表して謝辞を述べられました。

続いて、民生・児童委員の遠藤喜代乃さん、「あやめ会」の代表渡辺喜代子さんから体験や活動などを紹介していただきました。

記念講演のテーマは「中越大震災」

利法人新潟県災害救援機構理事長の梅澤圓了さんから「中越大震災で何がおこったか・人々の生活は・地域の結びつきは」と題して記念講演を行った。梅澤さんは「被災者への支援は、被災者自身の手助けが必要」と題して記念講演を行った。梅澤さんは「被災者への支援は、被災者自身の手助けが必要」と題して記念講演を行った。



新潟市民生委員児童委員 遠藤 喜代乃さん

放課後のこどもたちを見守って

主任児童委員として、2年目を迎える坂井東小学校のふれあいスクール「わくわくランド」にかかわっています。月・水の放課後、土曜日に地域の大人が事業ボラ

施設を慰問、大病も踊りで治して

あやめ会 代表 渡辺 喜代子さん 仕事のかたわら踊りとお茶の稽古に励んでいます。有明ハイツができて丸山トシさん、竹田とみさん吉井ミサホさんと4人で毎月の誕生会に踊りで訪問しました。ハイツの方々もよい方で、お年よりの元気な顔を見て「今日も元気でよかったね」と楽しく交流するうちに、知らず知らず長い間、

受賞された方々からの体験談

心のケアの大切さ、日頃からの地域住民の結びつきの重要性」等を熱く語っていただきました。あいにくの雨模様の日でしたが、参加の方々には災害への備えの重要性をそれぞれの胸にきざんで帰途につかれました。

ンテアとしてかかわってこどもの創造性、社会性を育てています。私は受付、記録をしています。〇〇ちゃんは何時に帰った等、誘拐事件などが問題になっていたので記録は大切な仕事になっていきます。スタッフ会議や情報交換など、この事業で地域の方々、民生委員、PTAとのコミュニケーションが深まりました。活動の中でこどもに教え、教えられ、こどもたちの安全を願いながらこれからも地域住民としてかかわっていきます。

慰問を続けるようになりました。私は平成6年にクモ膜下出血で倒れましたが医者から踊りでリハビリをすることを勧められました。そこで休むことなく自分の好きな踊りで病気を治しました。今は有明ハイツ、はまゆう、黒崎の里」などの施設を訪問しています。



第2回

リフレッシュ事業 参加者募集中

在宅でお年寄りや障害者の介護に携わっている方々に、ひととき温泉でリフレッシュしてもらおうと、保健師やケアマネージャーの研修を交えた介護者同士の交流会を実施します。



心も体もリフレッシュ

おもいやりのひとかき運動 今年も協力しよう

ひとかきの除雪であたたかな町づくりを 停付近にスコップを設置し、市民の皆様様にひとかきの除雪をお願いし「助け合いの心」を育もうと、平成7年度から市の協力を得て実施しています。



あなたの「ひとかき」をお待ちしております!

合併公告

平成16年8月23日に当社会福祉法人は、後記社会福祉法人を合併して存続し、後記法人は解散する旨を理事会及び評議員会で議決し、平成16年12月20日に合併について所轄庁の認可の通知を受け取りましたので、合併につき異議のある債権者は、この公告掲載の翌日から2月以内にその旨を申し出ください。

- 被合併法人の表示
1. 新潟県新潟市本町一丁目2番40号 社会福祉法人新潟市社会福祉協議会
 2. 新潟県白根市大字白根1132番地1 社会福祉法人白根市社会福祉協議会
 3. 新潟県豊栄市東栄町一丁目1番地35 社会福祉法人豊栄市社会福祉協議会
 4. 新潟県中蒲原郡小須戸町大字小須戸3870番地6 社会福祉法人小須戸町社会福祉協議会
 5. 新潟県中蒲原郡横越町中央一丁目1番2号 社会福祉法人横越町社会福祉協議会
 6. 新潟県中蒲原郡亀田町新明町一丁目2番3号 社会福祉法人亀田町社会福祉協議会
 7. 新潟県西蒲原郡岩室村大字西中860番地 社会福祉法人岩室村社会福祉協議会
 8. 新潟県西蒲原郡西川町大字旗屋701番地3 社会福祉法人西川町社会福祉協議会
 9. 新潟県西蒲原郡味方村大字味方583番地1 社会福祉法人味方村社会福祉協議会
 10. 新潟県西蒲原郡湯東村大字三方1番地1 社会福祉法人湯東村社会福祉協議会
 11. 新潟県西蒲原郡月潟村大字月潟1417番地 社会福祉法人月潟村社会福祉協議会
 12. 新潟県西蒲原郡中之口村大字福島323番地 社会福祉法人中之口村社会福祉協議会

平成17年1月9日

新潟市八千代一丁目3番1号 社会福祉法人新潟市社会福祉協議会 理事長 長谷川 義明

本庁第一 地区社会福祉協議会統合のお知らせ

12月1日(水)に、本庁第一地区社会福祉協議会と本庁第二地区社会福祉協議会が統合し、中央地区社会福祉協議会として新たにスタートしました。これからは、中央地区一体となって地域福祉推進をすすめていきます。(連絡先) 市役所中央地区担当(自治振興課内) TEL 228-1000(内線2416) FAX 228-2219

お問い合わせ先

新潟市社会福祉協議会 〒950-0909 新潟市八千代1-3-1 新潟市総合福祉会館内 TEL 243-4366 FAX 243-4376 URL http://www1.odn.ne.jp/niigata-shakyo Eメール n-fukusi@par.odn.ne.jp ボランティアセンター TEL 243-4370 FAX 248-7180 Eメール nc-vorasen@ams.odn.ne.jp 心配ごと相談所 TEL 243-4369 権利擁護事業 TEL 243-4416